



•Tackle Guide
 竿はオモリ負荷表示 80 号前後で全長 1.6~2メートルの 7:3~8:2 調子。仕掛けはハリス2号の2~3本バリが標準だ。



▲追い食いを狙うのもだいご味

は良型のマサバとアジのダブルで、「いいな」と船内でうらやむ声が上がります。今のマサバは脂が乗って極上品なのを皆さんご存じなのだ。そんな中、ベイスが上がらないのは釣友の米光さんで、「みんな海面でバレちゃうのよ」と弱り顔。「それは恐らくタナが低いからだよ」と私。タナが合っているとググッと明確なアタリで上アゴに掛かるのでバレは少ないが、タ

ナが低いとモゾモゾとしたアタリで口の横の薄皮に掛かるため巻き上げの際にハリ穴が広がって取り込みの際にバレルケースが増えるのだ。
空振りなしで28投
 撮影も順調に進んだことから10時から私も釣りに参加。着底を確認して3度ほど底ダチを確認したら1メートル巻き上げたところで最初のコマセをまき、ひと呼吸置いたら50センチ巻き上げて再びコマ



▲東京湾のビシアジは当分安泰だろう

東京湾のアジは周年楽しめる人気のターゲットだ。釣りはオモリ40号のビシを使ったライトタックルとオモリ130号のビシを使ったノーマルタックルに大別される(千葉県側はオモリ80号)が、狙う水深の違いはあっても釣り方自体の基本は一緒だ。東京湾のアジの魅力はその食味にあるが、何よりうれしいのは安定した釣果が続いており「東京湾のアジは期待を裏切らない」という点だろう。今回お邪魔した小柴のはやぶさ丸も一年を通してアジで出船しており、このところは20~40センチのアジがトップ50~60尾、直近では79尾と絶好調。しかも20センチに満たないアジは数にカウントしていないとのこと。

と東京湾の美味しいアジを求めて出かけてきた。
うらやましいサバ
 出船前に小山船長にこの時期のアジの釣り方の特徴をうかがうと、「この時期は深場を狙うのでコマセは力強くしっかりと振り出すこと。水温が下がるとアジは活発に動き回らないのでコマセを振った後にゆっくりでもいいから誘いを入れること。潮が澄む傾向にあるので仕掛けのハリスは2号以下にすること。とにかく手返しをよくしてほしい」とのアドバイスをいただいた。当日の乗船者は私を含めて8名と席に余裕があったのでおかみさんも仲乗りの合間に竿を出すらしい。7時少し前に夫婦船のはや



▲一日空振りなしで釣れ続くとほすこい

ぶさ丸はポイントに向かって出船。30分ほどして観音崎の北側、水深68メートルに到着すると、「やっってください。タナは底から2メートルです」と開始の合図が出た。コマセはビシにギッシリ詰めるが出が悪くなるので7~8分目ほど入れて皆さん投入ししばらくの間はみんなコマセを振ってアジを寄せるための共同作業だ。ほどなくして最初に魚信をとらえたのは左舷の間のおかみさんだった。海面にアジを浮かせた後手際よくタモで取り込む一連の動作は無駄がなく「さすが」のひと言だ。間を置かず左舷ミヨシ2番の田中さん、左舷ミヨシの佐藤さん、右舷トモの鈴木さんと後に続く。サイズはどれも25~30センチの中型で実によくまとまってる。

セをまきボーズを入れる。そして海底から2メートルまで巻き上げて誘いを入れるとグググとうれいしい魚信。釣り上げたのは本日のレギュラーサイズである25センチのアジだ。2投目、3投目と同級のアジを釣り上げて余裕が出たところで4投目は初めのアタリでは巻き上げずに、その位置で誘いを入れ、新たな魚信が加わったところでリーリングを開始。思惑どおりにダブルアジを抜き上げる。この調子で空振りなしで釣り続けていたときのこと、これまでにならぬほどの激しい引き込みが竿を揺さぶった。慎重に巻き上げを開始したものの竿先が海面にギューンと突っ込み、2度目の突っ込みの際にプツンとハリスを切

られてしまった。おそらくマダイの仕業と思われるが、ドラグを締めすぎていたのが災いしてしまった。しかし、その後もアジは順調に釣れ続き、11時を回ったころには潮も緩んできて釣りやすくなってきた。タナも潮の速いときは底から1.5メートルだったが、潮が緩むにつれて高くなって、最終的に底から3メートルがヒットゾーンになった。そしてアジは一日中途切れることなく釣れ続けたので、船は一度も潮回りをしないで済み、私も28投してすべてヒット。空振りなしで沖揚がり



▲25~30センチの中型主体だった

知得! Tips and Tricks 速潮時のタナ取り

アジ釣りには正確なタナ取りが欠かせない。とくに速潮時は投入の際に余分な糸フケが出ないようにサミングを行い、底ダチを何度か取り直してなるべく道糸が真っすぐ立ってからタナを取るようになる。タナを取ったらそのときの道糸の傾きを覚えておいて、それよりも垂直になったらタナが下がった、斜めになったら吹き上がってタナから外れたと判断。そんなときは再度着底させてタナを取り直すといい。

▲アジ釣りはタナが大事

途切れることなく釣れ続く!! 東京湾のビシアジは今が好期

●東京湾小柴発↓観音崎沖 本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

●船宿information
 東京湾小柴
はやぶさ丸
 ☎080-9558-7530
 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ショートアジ乗合一人9000円(コマセ、水、付けエサ付き)。アオソメは別売で400円
 ▶備考=予約乗合。出船7時、沖揚がり13時

小山泰弘船長

●すずき よしかず/正月明けに「少し肥えたね」と言う「ようやくここまで太ったので痩せる気はない」と女房殿。アンタはお相撲さんですか?